

昭和29年度業務報告

目 次

第1. 漁 撈 部

漁業技術改良普及事業	1
いわし資源委託調査	7
小型底申・転換近海鮪漁業指導	24
漁況及び海況予報調査事業成績書	38
源式網漁業委託試験	44

第2. 製 造 部

鱈節製造加工事業試験	48
あさり味付罐詰製造事業試験	53

第3. 養 殖 部

のり養殖試験	59
のり作柄の豊凶要因に関する研究	64
附2 海苔の人工胞子付試験	72
のり養殖技術改良普及事業	74
かき養殖技術改良普及事業	84
真球養殖試験	86
1. 清海内湾開発事業	88
2. 清海外海開発事業	131
3. 保護水面管理事業	153
琵琶湖産小鮎の放流事業	160

第1 漁 撈 部

昭和29年度事業報告正誤表

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
1	2	漁撈(1)	漁 撈	15		b) パッチ網Ⅰ成魚	b) パッチ網Ⅰ成魚
	3	漁業技術改良普及事業	(1)漁業技術改良普及事業	24	1	漁撈(Ⅲ)	(Ⅲ) 小型底曳転換
2	第3区	実際の浮絶の長さ	実際の浮繩の長さ	2	2	小型底申・転換	第3航海成績概要
	7	ほぼ	ほぼ	33	記 事	第航海成績概要	(Ⅳ) (漁況及び海況)
	第四区	浮○と水面とのなす角	浮繩と水面とのなす角	38	1	(漁況及び海況)	(Ⅳ) (漁況及び海況)
3	14	風力NW2	風向力NW2	44	1	V漁式網	(Ⅴ) 源式網漁業
4	12	燃度	燃 度		2	源式網漁業	(Ⅴ) 源式網漁業
5	左側表	連絡漁務名	連絡漁協名		26	漁 撈(Ⅵ)	(Ⅵ) 水産機械等
	12	特に顕著な○候と	特に顕著な徴候を		27	水産機械等	(Ⅵ) 水産機械等
7		いわし資源委託調査	(Ⅱ) いわし資源委託調査	46	(4)備考	本席講師	出席講師
12	1	(g)	(b)				

第2 製 造 部

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
48	12	比して割落	比して2割落		27	燻乾を製したので	燻乾を要したので
	28	問屋業者	問屋業者	53	8	水産物罐詰の機運	水産物罐詰業の機運
	31	万止むないと	万止むを得ないと		10	1,200箱(5号8打入)	1,200箱(8号8打入)
	33	業界に多の知られる	業界に多少知られる		12	6号罐2,000箱	6号罐1,000箱
	35	運営上前節	運営上削節		19	フラスキン1100.00	フラスキン10万分の1
49	31	381'91円	381.91円		20	原料を攪拌	原料を攪拌
	34	平均以上	平均以下		21	5分間にして冷肉詰を	5分間後放冷肉詰を
50	4	25,000-2,500度425円	25,000-2,500度425円		22	巻綿の上は232°F	巻綿の上232°F
	55		55				
50	7	表の下に挿入	備考、製品1ノ当りの諸経費は195.87円にして計画諸経費250円に対して良好な結果である	54	21	比較するために種類に分け	比較するために2種類に分け
	26	表の下に挿入	備考、歩留としては大体標準に達することが出来た	54	24	24行Bの下に挿入	結果は開罐成績表に示される如くB(150g詰)のもので充分規格の固型量を維持することが出来るので、この肉詰量に基づいて行つた。
51	3	順調に進歩し	順調に進歩し		17	常時原料を入し	常時原料を購入し
	4	販売値段で悪かつた	販売値段の点で悪かつた		28	冷凍の使用が望ましい	冷凍機の使用が望ましい
	9	製は仕込にも有る	要は仕入にも有る		30	「製造した結果」の次に挿入	1箱当り原料所要量は最高7ノ200匁から最低4匁と大きな開きがあつたが、初回は作業の不馴、準備の不足
	11	販売斡旋所の通じ	販売斡旋所を通じ	55			
	13	朝日信太郎商店よりの情を報	朝日信太郎商店よりの情を報				
	14	最も歓迎する	最も歓迎する				
	11	販売するのす有利	販売するが有利				
	13	ものよりも本場での切込み品	ものよりも、本場で切込みの品				
	14	相場は場製品	相場は、本場製品	56	3.4.5	攪拌	攪拌
	2	より180本円のところ	より18,000円のところ		35	技術向上し	技術向上し
52	2	表の下に挿入	備考 80%計画に対し予想以下に下廻つた。要は燻乾が不十分であつたと考えられる	58	18	平均価格は38円	平均価格は138円
	18	表の下に挿入	備考、製品1ノ当りに要した諸経費を見ると本節174.95円と本節174.92円にして計画250円に比較すれば良好な結果である		19	1罐当り35円36銭	1罐当り25円36銭
	22	表の下に挿入	備考、極端な製品相場の下落で大きな不足を生じた		29	罐詰し魚期は	罐詰の漁期は

第3 養殖部

P	行	誤	正	頁	行	誤	正
59	15		—		19	多寡と基因	多寡に基因
"	28	細筵	網筵		28	濃度と魚の関係	濃度と魚の関係
	29				65	34	海水中に表れる
60	5	プ	度	67	Table 2 Tovyo	Tokyo	
"	"	台食	台風	68	" 3 Osavi	Osaki	
	11	水浅	水深	"	5 (Tovyo)	(Tokyo)	
63	2	三谷10カ年均	三谷10カ年平均	72	6 ,54	1954	
"	"	鞆	舞		7 +1mom	+1m	
	10	ト	上	73	17 Caspoponia	Carspogonia	
	11	21.45	21.45	76	17	計るといのだが	計るといのだが
	30	硅筵	硅藻		18	妨げるか	妨げるから
64	1	結果へて	結果として		38	吊上げてを揃える	吊上げて芽を揃える
64	11	大佐	大体	84	15	知応	知悉
	17	発芽される	発芽させる		18	単価面積	単位面積
91	13	5.8000円	245.800	93	12	円盤数4枚	円盤数14枚
"	"	0	5.800	96	13	440	470
123	4	よれ	それ	142	7	患われるが	思はれるが
124	表	ST	St.	146	9	Eig.1	Fig.1
128		写真逆転		151	18	いかい	いがい
135	第2表	採取時期の雨の	採取時期に雨が	156	1	牟婁	牟呂
"	"	例年に	例年に比し少い。	"	35	Class	Class
140	第10表	うめのとらのを	うみとらのを				
142	2	本年度面播破機	本年度岩面播破機				

58 販売価格 (1箱2,400円) - 生産経費 (175.53円) = 原料1メダリ価格 (113.14)
原料1箱当り所要量 (5.67メ)